

# 登小だより



如月号



登立小HP

文責 校長 田崎正明

## 二月は去る、三月は…。

気づけば二月も終盤です。毎年のことですが、三学期の時の流れは、どの学期よりもはやい感じられます。学校ではもう卒業の足音が聞こえています。どの学年も「六年生のため」にという機運が学校生活に感じられます。六年生がのびっ子としての誇りをより一層高められるように、そして、その姿に、他の学年の子供たちの憧れをもてるように、学校一丸となって「のびっ子卒業プロジェクト」を展開していきましょうと考えます。どんなときも、元気で、心豊かな子供たちが集う学び舎であるために、残りの三月も、必要なこと、大切なこと、善いこと、可能性があることに知恵を出し合って取り組んでいきたいと考えます。皆様方のご理解とご協力をお願い致します。なお、卒業式は三月二十二日（金）に挙式することを申し添えます。

## ようこそ登小へ

四月に入学する新一年生の子供たちが小学校生活の体験をしました。来年度は二十五人の子供たちがのびっ子の仲間入りの予定です。元氣な返事と自己紹介まできちんとしてきた子供たちでした。学校探検では五年生が手を繋いで校内探検に出かけました。お世話してくれました。一年生の姿がとても遅く、大きく感じました。のびっ子全員で入学を待ち望んでいます。



新入児童と関わった一年生がとても大きく、五年生がとても遅し感じられました

## のびっ子の思い

能登半島地震において被害にわたれた方々へ向けてのびっ子会が動き出しました。児童集会で、震災へののびっ子の行動について話し合い活動をしました。「優しさを配る」ことを視点に全員で、自分たちにできる「やさしさ」について考えました。心を使いながらしっかりと考えを深めた時間でした。その後はのびっ子会が中心となり、募金活動に取り組みることになりました。「のびっこやさしさ配り大作戦」と題した支援活動を進めています。「自分たちにできること」への行動がのびっ子から立ち上がった活動です。のびっ子の思いが届き、平和な日常への復興への一助となることを願います。※募金（募金額四四八五一円）は日本赤十字社を通じて、被災地の復興支援に活用いただきますことを申し添えます。



のびっ子の尊い思いが届きますように

## 県学力・学習状況調査結果

熊本県学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査は、十二月に三年生から六年生までの子供たちが国語・算数の教科の調査と学習環境や生活環境のアンケート調査に取り組んだものです。結果については、教科の調査において、向上傾向が見られました。「学習方法を選択すること」を掲げ、学びの主体性を高めてきた成果が表れていると考えます。今回の結果から、課題を洗い出し、各学年における取組を構想し、のびっ子の学力向上を実現していきたいと考えます。ご家庭におかれましても、個人票をご参照になり、お子さんの学習状況についてご確認ください。

## つなしの会く二分の成人式

四年生の二分の成人式「つなしの会」を開き十歳のお祝いをしました。全員が将来の夢について語り、十歳の誓いを述べました。更生保護女性会の方々が来校くださり、手作りのお祝いの色紙を子供たち一人一人にいただきました。「つなしの会」を通して、成長の意味とともに地域の皆さまに見守られている喜びを感じたのびっ子たちでした。



将来の夢を発表する4年生



更生女性会の皆様方

## PTA総会の開催

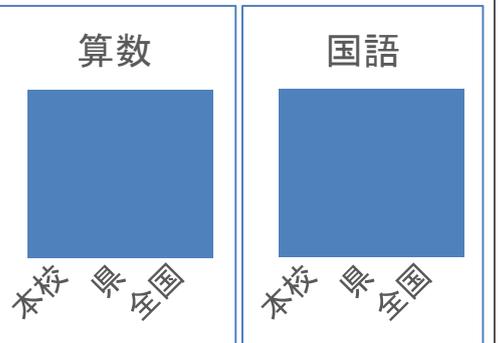
PTA総会が開催され、本年度活動の総括と来年度の志向について協議されました。本年度も本部を核に研修・広報、体育、家庭、地区、安全、学年の六委員会、本校教育の充実に向けた教育支援、研修親睦が図られました。保護者の皆様方の子供たちへの深い愛情と本校教育活動への多大なご支援を賜りながら、「協働」で子供たちの教育に当たることができました。心より感謝申し上げます。左記に来年度の本部候補の皆様方のお名前をご紹介します。今後ともPTA一丸となつてのびっ子の健全育成に進みましょう。よろしく願います。

## 【新役員候補のみなさん】

役職	氏名
会長	田中 恭平様
副会長	森本 絵美様
	水野麻理子様
家庭部長	島崎 久巳様
体育部長	千原 健晴様
学年部長	木下 由子様
書記	石炭 麻美様
	松山 浩利様
会計	西崎 真美様
	荒川 美樹様
役員	中川菜都美様
	水野 綱太様
	種物谷裕子様
監査	堤 博之様



多くの会員の方々にご参加いただき議事が進みました  
ご活躍いただいた会員の方への感謝状の授与



【教科に関する調査結果の概要】

## あとがき～親孝行の達人～

「行ってきます」という使い慣れた言葉があります。短い言葉ですがとっても大切な言葉です。この言葉は家族を安心させる力を持っています。毎朝、目と目を合わせて、大きな声で伝えることが大切です。以前、ある保護者の方が、「子どもが帰ってきたとき、親は「行ってきます」と聞いて、心から「行ってきます」と返すのが、親孝行の達人です。」と語っていました。私も「行ってきます」と返すのが、親孝行の達人です。全員が親孝行の達人を目指していきましょう。

## 「行ってきます」という使い慣れた言葉があります。

短い言葉ですがとっても大切な言葉です。この言葉は家族を安心させる力を持っています。毎朝、目と目を合わせて、大きな声で伝えることが大切です。以前、ある保護者の方が、「子どもが帰ってきたとき、親は「行ってきます」と聞いて、心から「行ってきます」と返すのが、親孝行の達人です。」と語っていました。私も「行ってきます」と返すのが、親孝行の達人です。全員が親孝行の達人を目指していきましょう。

# のびっ子のかがやき

**薬物乱用防止教室** 上天草警察署から講師をお招きし、保健学習を行いました。今回は薬物についての知識と適切な使用方法そして、薬害について学んだのびっ子たちでした。講師の方から薬の光と陰について丁寧に説明いただき、自分の弱さに負けない強さを持つことの大切さについて、改めて考えを深めました。これからも生活を創り、誇りある生き方を貫いてほしいと願います。ご指導いただいた上天草警察署の方々に心よりお礼申し上げます。



〔子供たちの深い学び〕 〔講師の上天草署大崎さん〕

**給食記念週間** 1月30日の給食は「おにぎり給食」でした。どの子も持参したおにぎりを大きな口を開けて、笑顔で食べていました。今日の給食では、おにぎりの中におかずが入っています。お米の味とともに各家庭の味をかみしめたのびっ子たちでした。おにぎりの花が咲く、楽しく、賑やかな時間となりました。



笑顔の奥には感謝の心が感じられました。

**縦割り班活動** 三学期の掃除の時間は、縦割り班掃除を行っています。1年生から6年生までの全員が9班に分かれて、校内を時間いっぱい掃除しました。活動では6年生が中心となって、掃除の段取りを説明したり、1年生には適切な掃除の方法を教えたりするなど、学びの多い時間となりました。最後は反省会も自分たちで進め、互いを認め合い、助け合うという大切なつながりを体験したのびっ子たちでした。「のびっ子ドラえもん・アンパンマン化計画」がスタートしたようです。



朝の活動では長縄跳びにも取り組んでいます。

## 夢グローブの贈呈

大谷翔平選手からのグローブが届きました。大谷選手の心遣いと子供たちへの期待をのびっ子全員で深く受け止めました。全員で大切に使用させていただきます。ご厚意に心より感謝申し上げます。



「よし、自分も夢実現！」

## 火災避難訓練

「火事だ逃げろ!」「でも、落ち着いてね。『お・か・し・も』で行動するよ!」今回は火災避難訓練を行いました。2階家庭科室からの出火を想定し、訓練を行いました。全員、約束を守りながら、迅速に行動し、避難できました。かかった時間「2分14秒」でした。ご指導いただいた北消防署の方からも、おほめの言葉をいただきました。避難訓練終了後は、消火訓練と煙訓練に取り組み、火事の怖さとともに、命を守る行動について深く学んだのびっ子たちでした。



〔消火器の使い方〕



〔煙中での避難の様子〕

## 能楽鑑賞会

武田太加志記念能楽振興財団のご厚意により、能楽師の武田友志さん(重要無形文化財保持者)においでいただき、能楽の上演と講義を行っていただきました。本物に触れる機会を得たのびっ子たちは、とても貴重な時間を過ごすことができました。お力添えいただいた皆様方に心より感謝申し上げます。700年の歴史の重みとともに、能を身近に感じることができました。



「心の中を表現する大切さを実感」

**水俣に学ぶ肥後っ子教室** 5年生が水俣の地に出向き、学びを深めました。一年間進めてきた環境学習を起点とした水俣病に係る人権問題解決に向けた学習をまとめました。



水俣病は二度と起こしてはならないから多くの人に呼びかけたり、水俣病患者の方々への陰口や差別があればなくしていく。差別は絶対にあってはならない。水俣病患者の方々はどうなにか苦しんだかを理解することが大切だと思う。自分の行動としては、今までよりも、もっと川や海を大切に。一人一日あたり230リットル使うことがわかった。「とめる」「ためる」を大切にしていきたい。油やゴミは絶対に川や海に流さないようにする。  
ゴミはリサイクル。  
5年 島崎梨央

環境問題については「とめる」「ためる」を心がけ、SDGsを意識して節電・節水をしていきたいです。地球上で自由に使える水は、かなり少ないということを知り、びっくりしました。水俣病については、語り部の滝下さんからの話を聞いて、調べてもわからないことが分かったし、患者さんのつらさもわかりました。差別や偏見をなくし、している人がいたらすすんで注意できるようにしていきたいと思います。また、下の学年の人や家族にも教えて、これからは肥後っ子教室で学んだことをわすれないようにしたいと思います。  
5年 西千翔